

秋晴れの下、かなやま湖畔で植樹が行われる

緑豊かなまちづくりと自然環境の整備を、町民皆さんの参加をいただきながら進めていこうと、10月2日、「フォレストタウン記念植樹祭」がかなやま湖畔で行われました。

この事業は、毎年、結婚やお子さんが誕生されたご家族に参加を呼び掛けて行なっているもので、今年は19世帯60名の皆さんが、スコップを手に、エゾヤマザクラの苗木を植樹しました。参加した皆さんには、木製の額に入った記念証が贈呈され、最後に全員で記念撮影を行い、今後の苗木の成長を楽しみしながら笑



顔で会場をあとにしました。また、この日は引き続き、アオダモの森で、「緑とエコ」サポーターネットワーク水源の森創造交流会が行われ、滝川市のボランティアアグループ「緑とエコ」サポーターネットワークの皆さんが参加して、アオダモやシラカバなど5種類の樹木が植樹されました。

この事業は、空知川の最上流部に位置する本町と空知川を水道水源として利用している下流域の滝川市が共通の認識を持ち、一体となって水源の確保を維持することを目的として開催されています。

まちの仕事を見に行こう「町内施設見学会」

10月7日、町が行っている事業を広く町民の皆さんに知っていただくため、2年に1度開催している「施設見学会」を実施しました。この日は、町内各地区から15名の皆さんが参加され、ガイド役は池部町長が務め、マイクロバスで町内を巡回し、町政への理解と協力をお願いしました。

北落合地区では、「列状複層林造林地」を見学したあと、「一般廃棄物最終処分場」を訪れ、町長から、



リサクルの向上とゴミ排出量の削減について協力をお願いしました。参加された皆さんは処分場に埋立てられてたゴミの多さを見て、大変驚いていました。

幾寅地区では、昨年整備された市街地の街灯や、今年度整備する落合・金山・下金山地区の街灯整備の概要について説明を受けたあと、幾寅駅前前に9月に設置されたばかりの「ぼつぼや号」とロケセットなどを見学しました。現在基盤整備中で来年度から建設が進められる、「公営住宅幾寅しらかば団地」の建設地では、住宅の概要などが説明されました。

かなやま湖畔では、「フォレストタウン記念植樹地」と、プロ野球選手を招いてバットの原木を育てている「アオダモの森」を見学しました。

午後からは、金山ダム管理所で職員の案内によりダム堤内などを見学したあと、「金山森林管理センター跡地」では、平成19年度に建設を計画している「特別養

護老人ホーム」について、

金山・下金山地区の地域振興や、医師を定着させるための医療対策として、施設の必要性や現在の計画内容について説明がされました。最後に、下金山地区で現在建設が進められている「公営住宅下金山西団地」の建設現場で概要説明を行い、予定した全日程を終了しました。

当日は、天候にも恵まれ、池部町長のガイドにより、移動するバスの中でも終始楽しい雰囲気での見学会となりました。

人権擁護委員の再任

人権擁護委員として活躍されております五日市義治さん（幾寅）が、本年10月1日付けをもって引き続き人権擁護委員として法務大臣から委嘱されました。



人権擁護委員に再任された五日市義治氏